

業況レポート

情報連絡員報告

平成21年4月期

製造業

- ◇味噌…必要最低量の購入傾向が強く、売上の微減傾向が続いている。原料米の供給遅滞が続いており生産計画に影響が出ている。
- ◇納豆…売上減少が続く、企業規模に関係なく危機意識が高まっている。消費者の買い控え、安値志向、流通の過当競争により、強引な値引き要請が起きている。
- ◇菓子…大型連休前半に期待したが、人出はあったものの売行きはいま一つで、全体的に景況は弱含みであった。
- ◇パン…悪化が続いている。組合全員で対策に取り組まねばと考えている。
- ◇酒…2月の県内全体の課税移出数量は前年同月比91.4%、3月の見込みも95%で依然として低調。4～5月にかけては新酒の出荷時期でもありやや増加を見込む。
- ◇繊維製品（衣料）…価格競争が益々激しくなり、国内での生産原価は限界になってきた。
- ◇繊維製品（袋物）…例年4月はG・Wを控え売上・受注とも増加するが、今年はかなり厳しい状況で5月は更に心配。
- ◇木材…木材需要の回復気配は見られず厳しい状況。製品の荷動き不振が続いている。
- ◇プレカット…加工坪数は目標の60%に落ち込んだ。
- ◇段ボール…受注量は減少したままで回復の見通しなし。材料の素になる板紙が4月より若干値下げになり、その分の製品価格の下方修正を実施する。
- ◇印刷（総合）…年度末需要が終った後は超閑散。資金繰りも収益状況も悪い。
- ◇陶磁器…「陶炎祭」は、ETC割引や大型連休、北関東自動車道の開通等で史上最高の人出でにぎわった。
- ◇鍍金…受注量は全産業で低水準。売上高は前年比4～5割程度。当業種は見込生産が出来ないため、得意先の減産は即、設備操業の低下に繋がる。経営に大変苦勞している。
- ◇重電…年度末のため前倒しの仕事が若干増えた。今後は変動の見込み。
- ◇電化機器…当月の生産高は、前年比で家電関係が19百万円減（前月比35百万円増）、自動車関連が269百万円減（前月比19.8百万円増）で、依然厳しい状況。
- ◇自動車部品…売上高は横這いになってきた。
- ◇工業団地（農機部品）…売上状況は前年同月比全7社がマイナスで、全体では前年比78%。厳しい状況が続いている。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は前年同月比約24%減少。かつてない落込み幅で、建築工事が極端に減少したためと思われる。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比1.7%の減。冷凍業取扱高はG・Wを前に在庫・在庫とも上昇。売上高は前年同月比2.1%の増収。
- ◇県西地区卸売業…新規採用をせず退職者の再雇用をしているため雇用人員に変動はない。
- ◇県南地区共同店舗…約2年余り続いた販売価格（客単価）の上昇が低下に転じた。特に、衣料品の売上が前年

比60%台と急激な減少。

- ◇県北地区共同店舗…総じて苦戦は続くも同業種間で好不調が鮮明になってきた。策を講じている店は売上に表れている。
- ◇日立商店街…最近になり建物の取壊しが3ヶ所あったが、空き地や駐車場になったりで、新店舗の建築はない。
- ◇家電…AV商品・パソコン・ビデオカメラの販売が大幅減。「省エネ家電エコポイント制度」の実施前で、テレビ・エアコン・冷蔵庫でも買い控えから販売が伸び悩んでいる。
- ◇書籍…新学期で参考書の微増はあったが、雑誌等については厳しい状況。店頭での販売はかなり減少している。
- ◇石油…販売価格が前年同月比16円下落したにも拘わらず販売量は減少。安値販売競争が一層激しくなり、一般組合員の仕入価格を下回る価格を掲示し販売する店も出て、周辺の同業者に大きな影響を与えた。
- ◇中古自動車…円高による輸出の不振、鉄スクラップの暴落によるリサイクル車の不振等で、オークションでの成約率が低くなってきた。
- ◇ホテル・旅館…宿泊者の低迷が続いている。
- ◇自動車整備…4月期の県全体の検査台数（指定整備は除く）は、前年同月比で普通車5.3%、軽自動車5.8%それぞれ増加した。両車併せての業務量は5.4%の増加。
- ◇総合建設…年度切替月の4月は工事量の少ない時期ではあるが、特に本年は官公需発注が数本しかなく手持ち工事も少ない。景気対策としての先行工事発注に期待。
- ◇管工事…官民とも受注量の減は変わらず売上高減少。県西・県北地区での若年者の雇用状況が好転せず。
- ◇交通安全施設業…年度始めのため公共事業の発注が極少。国の大型補正予算に期待。
- ◇県北地区運輸…先月に引続き出荷物量は輸出案件を中心に昨年を下回った。国内向け出荷も自動車部品、家電、設備（昇降機、衣料）関係を中心に低調な状況が続いている。
- ◇県央地区軽貨物…景気悪化により軽運送事業も苦しい経営状態に追い込まれている。

H21.4月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造業		▲ 83.3	☂	▲ 50.0	☂
その他製造業		▲ 75.0	☂	▲ 85.0	☂
卸売業		▲ 50.0	☂	▲ 50.0	☂
小売業（商店街を含む）		▲ 45.5	☂	▲ 81.8	☂
サービス業		▲ 50.0	☂	▲ 50.0	☂
建設業		▲ 100.0	☂	▲ 80.0	☂
運輸業		▲ 100.0	☂	▲ 100.0	☂
全体		▲ 70.0		▲ 76.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（DI値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

				
30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はDI値